



“ふるさとちば”のための政策推進を すみ隆仁県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

避難所での災害弱者への対応問う

高齢者の常用薬確保を



2月県議会で県の施策を質問する鷺見隆仁県議

鷺見隆仁県議(美浜区選出、1期)は2月定例会県議会で質問に立ち、防災対策を中心に県の施策を尋ねました。現職の歯科医師である鷺見県議は、義歯や金属の詰め物にその方の情報を入れる義歯刻印の技術を紹介し、災害でお亡くなりになった方の身元確認の手段として有用と力説しました。また、若者の市販薬乱用への対策を質問し、危険性の周知を要望しました。一般質問と予算委員会での鷺見県議の質疑と県執行部の答弁を併せて紹介します。

2月県議会一般質問

鷺見議員 今回、甚大な損害をもたらした能登半島地震は1月の真冬の発生であり、毛布や石油ストーブなど避難所での寒さへの対応や、女性や災害弱者と定義されている高齢者、障害者の方、ペットを連れての避難、限られた医療資源の活用など、様々な問題も取りだされている。そこで、高齢者などが継続的に服用している慢性疾患用の医薬品等の備蓄状況はどうか。

保健医療担当部長 県では、災害時の迅速な対応を可能とするため、1万1千人分の医薬品等を、県保健所、地域保健センター及び

災害時にペット同行避難 防災用品にフードも

鷺見議員 災害時のペット対策について、県の取組状況はどうか。
保健医療担当部長 県では、飼主に對して、災害時に避難所において、ペットが問題なくすごせるよう、平時からハウストレーニングやトイレトレーニングなどのペットのしつけの重要性や、トイレ用品やフードなど防災用品の準備について啓発しているところだ。

鷺見議員 災害時のペット対策について、好事例を紹介するなど、円滑な受け入れのための助言や働きかけを行っています。今後、災害時に円滑な同行避難が実施できるよう飼主への普及啓発や市町村との連携強化に取り組みたい。
鷺見議員 災害時にペットの同行避難が実施できるよう、市町村との連携強化に取り組みたい。

また、避難所を開設する市町村に対しては、ペット同行避難の体制整備を促すとともに、臭いや鳴き声といったペットに関する

水道事業者が協力し被災地に給水車派遣
鷺見議員 災害時の応急給水に係る県の対応はどのようなものか。
知事 県では、県内水道事業者における給水車や給水タンク等の保有状況を予め調査のうえ、相互に情報共有を行うとともに、令和元年房総半島台風等の教訓を踏まえ、災害発生時には、県から水道事業者に対し、

蓄医薬品で対応できない場合は、千葉県医薬品卸協同組合との協定に基づき、供給を依頼できる体制を整えています。
今後は、能登半島地震における対応状況等も踏まえ、関係団体と協議しながら、備蓄品の見直しを検討するなど、適切な災害用医薬品の備蓄に努めてまいります。
鷺見議員 災害時に困らないように、慢性疾患薬の確保に平時より備えるよう要望する。

すみ隆仁 県議事務所

〒261-0001 千葉市美浜区幸町1-2-2 桑田ビル3A
TEL 043-246-5066 FAX 043-262-9930
mail: sumitakahitokouenkaikai@gmail.com

○ 経 歴 ○

- ◆1979年2月 千葉市生まれ
- ◆千葉大学付属小学校、市川学園市川中学校、市川高等学校、日本歯科大学卒、日本大学大学院修士課程修了
- ◆2019年5月 千葉市議会議員選挙で当選
- ◆2023年4月 千葉県議会議員選挙で当選

- ◆現職 文教常任委員会委員
商工議員連盟委員
医療問題議員研究会会員
千葉県歯科医師連盟委員
法務省保護司
千葉商工会議所青年部副会長

被災者の身元確認に 義歯刻印の普及有用



県の取り組みを要望する鷺見県議

鷺見議員 東日本大震災などの時にもお亡くなりになった方の身元確認において、多くの歯科医師が歯科法医学の観点より活躍し、岩手、宮城、福島の3件で歯型が決め手となって身元が特定されたご遺体は全体の約8%にのぼった。

その際に、義歯や金属の詰め物に氏名などの情報が書かれたプレートやその方の

情報が分かるQRコードを入れる義歯刻印という技術があり、千葉県歯科医師会においても平成17年4月より、この義歯刻印の事業を行っている。

この義歯刻印は、災害だけでなく、事件などでお亡くなりになった方の身元の解明にも役立つ。

災害でお亡くなりになった方の身元確認の手段として、義歯刻印を導入し、普及することが有用かと思うが、警察としての受け止めはどうか。

警察本部長 県警では、災害時に限らず、身元が分からないご遺体を取り扱った場合は、遺族等による容貌の確認、所持品の調査、指掌紋の照会、歯科医の協力を得て実施する歯牙所見の照合等の身元確認を行っているところです。

議員 指摘の「義歯刻印」については、義歯などの補綴物に患者の情報を記録する方法であるものと承知しているところ、一般論として身元が分からないご遺体の身元確認の手掛かりの一つ

若者の「オーバードーズ」 一層の危険性周知を

鷺見議員 若者の市販薬の過剰摂取であるオーバードーズについて、県としてどのように対策をしているのか。

保健医療担当部長 市販薬の濫用が若年層を中心に拡大しつつある中、県では、医薬品販売業者に対する立ち入り指導において、濫用等に

さらされているか重点的に確認しています。

また、SNS等により、市販薬濫用の危険性を周知するとともに、県が主催す

つながらるおそれが高い成分を含む市販薬については、購入目的を確認するなどの販売方法が徹底されています。

また、SNS等により、市販薬濫用の危険性を周知するとともに、県が主催す

る薬物乱用対策の推進に関する会議の場を活用し、情報共有や連携の確認を行っています。

先月には、20歳未満の若者に対する濫用のおそれのある医薬品について、販売できる数量を小容量1個に限るなどの対応策が国の検討会から示されたことから、引き続き、国の動向等を注視しながら、市販薬の濫用

防止対策に取り組んでまいります。

要望 鷺見議員 千葉県薬剤師会などと連携して、より一層、市販薬濫用の危険性を周知するとともに、薬物乱用対策の会議の場で、情報共有や連携の確認を更に行って頂き、若者のオーバードーズへの対策、対応を強く行うことを要望する。

要望 鷺見委員 養成カリキュラムの内容をどうするか。

業務課長 カリキュラムについては、他県の先行事例などを参考に、県内での災害発生時を想定し、グループワークや演習を中心とした実践的な内容とするよう、検討しています。

要望 鷺見委員 是非とも、災害時に即戦力で活躍できる人材を育成して頂くよう要望する。

るが、企業局は、幕張ベイタウンの皆様が、安心してこの地域に住み続けることができる街の実現に取り組んでほしい。

更新料の説明に関しても、現地に赴いて直に住民と接して耳を傾け、住民説明会をするぐらいの県民に寄り添った、気概を持った企業局運営をするよう要望する。

JR京葉線ダイヤ改正で

幕張新都心ブランド低下懸念

なり得ると思われれます。ただ、県警としては、その導入、普及の是非について申し上げる立場にはないと認識しています。

鷺見議員 J R京葉線のダイヤ改正について、幕張メッセや周辺施設への影響を県はどう考えるか。

商工労働部長 今回の京

業線ダイヤ改正によって、海浜幕張と東京方面との間の所要時間が延びることとなり、幕張メッセへの来場者や幕張新都心の通勤・通学者の利便性が大きく損なわれるとともに、展示会等の誘致を含め、地域全体に多大な影響が及ぶものと考え

えております。

このため、去る1月17日には、幕張メッセをはじめとする幕張新都心の関係5団体から、快速列車廃止の撤回を求める要望書をJRに提出したところです。

J Rでは早朝時間帯の快速列車の一部を存続する旨

の見直しを行ったところで、十分な内容とは言えないことから、県では今後さらなる利便性の復旧に向けたダイヤの早期見直しについて、幕張新都心の関係団体とも連携しながら、J Rに対し強く働きかけてまいります。

企業局 幕張ベイタウン貸付収益 今年度13億4千万円

2月県議会予算委員会

鷺見委員 幕張ベイタウンにおける土地分譲の見込みについて、具体的にどうか。

土地分譲課長 幕張ベイタウンにおいて、企業局では公益施設用地として確保している土地を除くと、打瀬3丁目の海浜大通りに面した、約2・9分の未処分土地を保有しています。

当該土地の処分に向けて、幕張新都心にふさわしい、魅力的な施設が立地できるように、事業者の意向把握などに努めてまいります。

鷺見委員 幕張ベイタウンにおける、貸付収益の見込みはどうか。

土地分譲課長 令和6年度当初予算において、幕張ベイタウンの貸付収益として、13億4千3百万円を計上しています。

その内訳として、貸付を

行っている43の街区の土地貸付料が12億2千3百万円、令和6年度に貸付契約の更新を迎える6つの街区の更新料が1億2千万円となっております。

要望 鷺見委員 資産の管理費用は今後も発生し続けることが想定される

要望 鷺見委員 69名の養成を計画しています。

鷺見委員 養成カリキュラムの内容をどうするか。

業務課長 カリキュラムについては、他県の先行事例などを参考に、県内での災害発生時を想定し、グループワークや演習を中心とした実践的な内容とするよう、検討しています。

要望 鷺見委員 是非とも、災害時に即戦力で活躍できる人材を育成して頂くよう要望する。

薬事コーディネーター 災害に備え69名養成

鷺見委員 災害対策本部で災害医療に関する応急対応を担う災害薬事コーディネーターは何人想定しているのか。

業務課長 災害薬事コーディネーターは、県の災害医療本部及び地域の被災地における医薬品等の供給管理、支援薬剤師の調整等を担うこととし、